



Formula Challenge Japan

2011年10月8日

2011 フォーミュラチャレンジ・ジャパン Rd.10 決勝レース

石井一也が F1 の大観衆の前で今期 2 勝目を飾る

フォーミュラチャレンジ・ジャパン (FCJ) 第 10 戦の決勝レースが 10 月 8 日 (土)、9 時 30 分より鈴鹿サーキットで開催された。

F1 日本グランプリのサポートイベントとして行われる今回は周回数もいつもとは違い、10 週の超スプリント。更にここでの自己ベストタイムがそのまま明日の第 11 戦のグリッド順となる。こうした課題を抱えながら各ドライバーは一旦西ストレートに整列、スタート 3 分前にホームストレート上のスターティンググリッドへ向かった。ところがここでポールシッターの #11 石井一也が、タイヤに付着したごみを取り除こうと車体を振り回して姿勢を乱し、130R でスピン。更に後方では #7 小河諒が #13 柴田隆之介に追突するという波乱が立て続けに起きる。石井はすぐにコースに復帰して自分のグリッドに就いたが、小河はフロントウイングを傷めてしまい、そのままレースを終えてしまった。

スタートでトップに立ったのは 2 番手スタートの #2 山田真之亮。今季初参戦の山田はこれが初めてのフロントロースタートだったが、ポールの石井がクラッチミートを少しミスしてホイールスピンさせてしまうのを尻目に真っ先に 1 コーナーに飛び込んでいった。2 位は石井、3 位には予選 5 番手の #3 近藤翼が上がってきたが、近藤にはジャンプスタートの裁定が下り、30 秒のタイム加算が課せられてしまった。以下、#9 勝田貴元、#8 元嶋佑弥、#4 平川亮の順で 1 コーナーを通過。さらに平川はこの週の 130R で元嶋を抜いて 5 位に浮上する。スタートで山田の先行を許した石井だったが、落ち着いて山田の隙を伺いながら周回を重ね、5 周目のシケインでハードブレーキングを敢行、山田のインに飛び込んでトップを奪い返した。初めてのフロントロースタート、初めてのトップということで緊張したという山田はその後も細かいミスをいくつかしてしまったようで、石井に抜かれた後は徐々に引き離されてしまい、9 周目のシケインでアウトから近藤に抜かれてしまった。しかしこの時点で既に近藤にはペナルティが出されていたため、見かけとは違って山田は依然として 2 位を走行していたことになる。その後方では勝田がファステストラップを記録しながら徐々に間隔を詰めてきていた。トップの石井は終盤独走状態となったが、ゴール寸前の最終コーナーでまさかのコースアウト。あわやクラッシュかと思われたが何とか立て直し、そのままトップでチェッカーを受け、今季通算 2 勝目を挙げた。2 位にはこれが初めての表彰台となる山田、3 位には勝田がつけた。

次回第 11 戦は明日の朝 11 時より同じく 10 周で行われる。



TOYOTA NISSAN HONDA





Formula Challenge Japan

優勝：石井一也

「今回はF1のサポートレースということで、スケジュール調整の大変な中でFCJを組み込んでいただけたことに感謝していますし、関係者の皆さんに感謝しています。スタートではクラッチミートをミスしてしまい、ホイールスピンをさせてしまって、山田選手に前に行かれてしまいました。でも落ち着いて走れば絶対抜けると思っていましたし、シケインには自信があったので少し無理かなと思いましたがインに飛び込みました。前回鈴鹿で優勝したときは、セーフティーカーに先導されてのゴールだったこともあり、感動も今ひとつでしたが、今回はチェッカーが見えたときにもものすごく感動しました。感動してしまってラインを外してしまいました。今日はスタートで悔しい思いをしたので、明日のレースでは完璧な、今までで一番のスタートを決めたいと思います」



2位：山田真之亮（東京中日スポーツ賞受賞）

「F1のサポートイベントで走れることに感謝しています。初めてのフロントローということで緊張しましたが、トップを狙う思いでスタートしました。今までの最高位は8位だったので、トップを走ることになってあがってしまい、いくつもミスをしてしまいました。明日はミスを減らして優勝を狙いたいです」

3位：勝田貴元

「F1という年に一回の大イベントで走れることに感謝しています。ここまで富士、鈴鹿とうまくいなくて苦しかったのですが、家族に支えられ、アドバイザーさんをはじめ周囲の皆さんに助けていただけたことが今回の結果に繋がったと思います。序盤にフロントタイヤを傷めてしまい、タイヤがオーバーヒート気味になっていましたが、それでも3位になれたのは、アドバイザーの皆さんのアドバイスが活きたからだと思います。明日はおそらくポールポジションからのスタートになると思いますが、気負わずに頑張ります」



FCJに関するお問い合わせ先
フォーミュラチャレンジ・ジャパン事務局
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25
株式会社日本レースプロモーション内
電話：03-3237-0132

TOYOTA NISSAN HONDA

